

平成28年度施策評価調書

整理番号	18
評価担当課	農務課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	豊かさや活力のある農村の構築(4-1-5)		
総合計画の位置づけ	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
	主要施策	1	農業・農村の振興

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	農業・農村の魅力を伝えるため、都市と農村の交流を推進する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	豊かな自然とのふれあいや農業・農村への理解を深めるため、農業体験などのグリーンツーリズムや、レクリエーション施設が整備された日進地区を中心として農村と都市との交流を図る。
施策の課題	今後さらに活動を推進するためには、農家民泊など長期滞在による交流の取り組みが求められるため、受入体制の整備が課題となる。また、日進地区整備については引き続き検討が必要である。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
農業体験実施者数	農業体験の受入人数	目標値	90	90	90	
		実績値	95	102	95	
		進捗率	106%	113%	106%	
名寄市日進地区再整備基本構想策定	基本構想の策定	目標値	1			
		実績値	1			
		進捗率	100%	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	農業体験による交流は毎年度実施されており、今後は都市部からの交流人口拡大に向けた検討が必要である。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

名寄の自然と農業・農村の魅力を伝えるため、引き続き農業体験等の取り組みや、環境整備に向けて取り組む。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	グリーンツーリズム推進事業	グリーンツーリズム推進協議会補助金	100	a	a	a	a	a	A	A	A
2	都市と農村交流促進事業	名寄市日進地区再整備基本構想策定	0	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	18	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	経済部農務課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	グリーンツーリズム推進事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
	無	主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	5	豊かさ活力のある農村の構築
		実施計画事業	2	グリーンツーリズムの推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	都市と農村の交流により、農業への理解を深めるとともに、消費拡大や地産地消につなげていく			
対象(何を又は誰を)	名寄市内・外の市民を対象に農業や名寄産農産物の良さを理解してもらう			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	農業体験の実施			
意図(どのような成果を期待しているか)	農業体験などを通じて、農業・農産物の良さを再認識していただくとともに、消費拡大へとつなげていく			
事業実施主体	グリーンツーリズム推進協議会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 農業体験受入可能農家戸数	戸	目標	30	35	35	35	
			実績	31	35	34		
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 農業体験の実施 農業体験実施者数	人	目標	90	90	90	90	
			実績	95	102	95		
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	100	100	100	100	補助金 100千円
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	100	100	100	100	
人件費	2,005	1,989	1,947	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.30	0.30	0.30		
総事業費	2,105	2,089	2,047	100	
対前年比(%)	—	99	98	5	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	農業・農村の良さについて理解を深めるためには、市民と農業者との交流が必要である
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	農作業体験を通じて農業・農産物に対する理解を深めることができる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	グリーンツーリズム推進協議会の事業・運営に必要な経費の一部を補助することで、円滑に事業が推進されている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	農業体験の実施にあたり参加費などを徴収し取り組んでいる
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	毎年度達成されている

5 1次評価

評価結果	理由	
A	今後も名寄市の農業に対する理解を深めるため実施していく必要がある。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	長く継続されている事業だが、次の展開を考える必要があるのではないか。

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	グリーンツーリズム推進協議会として収穫体験をしてほしい。高齢者でも受入れで活躍できるようなことを検討してほしい。学生との交流もメリットがあると思う。

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	新たな展開が必要と考える。

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	18	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	経済部営業戦略室営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	都市と農村交流促進事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	5	豊かさ活力ある農村の構築
		実施計画事業	2	グリーンツーリズムの推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	移住・定住・新規就農者の拠点整備検討のため、今後の日進地区が目指すべき望ましい整備の方向についてビジョンを示す。				
対象(何を又は誰を)	日進地区				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	見識ある専門業者によるマーケティングを行い整備計画を作成する。				
意図(どのような成果を期待しているか)	日進地区の利用者のニーズの多様化、社会情勢の変化を捉え今後の整備を検討する。				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他()
事業実施期間	始期	24 年度	終期設定	有 (終期 年度)	無
根拠法令・条例等					

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 名寄市日進地区再整備基本構想策定 策定数	件		1				
				1				
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
成果指標	1 名寄市日進地区再整備基本構想策定 策定数	件		1				
				1				
	2			目標				
				実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	3,507	0	0	0	なし
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	3,507				
人件費	1,337	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.20				
総事業費	4,844	0	0	0	
対前年比(%)	—	0	#DIV/0!	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	4,844			
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	平成25年度に旧風連高校の教職員住宅を改修した移住体験施設が好調であり、移住希望者の移住体験のニーズは高まっている。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	日進地区は、緩やかな丘陵地形と豊かな自然環境を生かして、「ピヤシリスキー場」「なよろ温泉サンピラー」「なよろ健康の森」「道立サンピラーパーク」など各種レクリエーション施設が整備され、市民のみ身近な憩いの場となっている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	日進地区の今後の方向性を検討する上で、見識ある専門業者によるマーケティングを行い整備計画を依頼することは有効的である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	本計画策定に向けて入札を行い費用の適正に努めた。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	本計画は日進地区の今後の整備の方向性を示すものであり、広く市民の利用があり適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	名寄市日進地区再整備構想を策定した。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	今後の日進地区の方向性を示す構想を策定したものの、個別事業についてのスケジュール、規模などを含め検討の余地がある。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	日進地区では温浴施設の改修などの要望も高く、優先順位を含めた検討を行う。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり